



## マグネシウム・ソレイユ・プロジェクト

「21世紀に地球が直面する最も大きな課題は、持続可能な方法でエネルギーを生産し、消費しなければならないということです。その方法として、エネルギーキャリアとして注目されるマグネシウムを製錬し、合金を生産し、これを軽量な構造材として活用した後に、電池として利用することが有望視されています。自然エネルギーなどが余ったときに、そのエネルギーを用いてマグネシウムのリサイクルを行うことは、エネルギーを貯蔵することと同じで、さらに付加価値が上がります。私たち協議会はマグネシウムに限らず、今後、エネルギーキャリアとなる素材を循環システムに位置付け、国内だけでなく世界中のどこでも、公平なテーマとして扱いができるよう啓発活動を推進しながら構築・実現していくことで、地球環境の維持保全に貢献して行きます。」



## NATSでのデモ走行について

EVに搭載するエネルギーの多様性を確保！ (2021.12.04)

東海大学：木村英樹 教授 (マグネシウム・ソレイユ・プロジェクト応用部会)

玉川大学：斉藤純 准教授 (マグネシウム・ソレイユ・プロジェクト応用部会)



玉川大学のマグネシウムで走るハイブリッド・ソーラーカー



東海大学のソーラーカー

### Green Power Supply Systems Project

ファーストステップ：「マグネシウム製錬実証試験設備の構築」

日本独自のマグネシウム生産拠点の確立



計画中

2021 ワールド・エコノム・ムーブ・グランプリ最終戦予定(出場約30台)

2022年3月19日(土)から20日(日)

沖繩(久米島) ソーラーカーデモ走行予定(東海大、玉川大、工学院大他)

<国内唯一の公道での開催>  
2022.3.19: W.E.M.久米島 (グランプリ最終戦) 予定  
開催予定: 2022.03.19 (土) - 20 (日)  
2.11.01 「Mg-Driven KUMETJMA」開催予定  
久米島までの協議中向の運動費負担(コシテナ費用)は内閣府他にて検討中です。  
(東京、大阪、京都から)  
久米島のホームページは次の通りです。  
<http://www.town.kumeijima.okinawa.jp/>

コース等について  
右回りで一周 1.8 kmでの総周回数に基モノづくりとしての追加ポイントを追加しての記録を競う。  
※追加ポイントについては技術・環境に関するものとして検討中  
〒901-3105 沖縄県島尻郡久米島町字原414 水産加工施設隣地



デモ走行として参加予定のソーラーカー・車両(左から): 玉川大学(2019WSRCにて)、東海大学(2019WSCにて)、工学院大学(2019WSCにて)



## 一般社団法人マグネシウム循環社会推進協議会

約40団体他加盟

<http://www.soleil-energy.jp>

\*2018年2月より社団法人

代表理事：熊谷枝折 (事務局兼電池部会長) [s-kumagai@soleil-energy.jp](mailto:s-kumagai@soleil-energy.jp)

会長：坂本満 製錬部会長：柴田浩幸、合金部会長：松本敏治、海洋エネルギー部会長：池上康之、応用部会長：樹川重男

事務局：高田賢一、前田雅彦

東北大学 先端材料技術開発センター マグネシウムソレイユプロジェクト 022-217-3884 (Tel/Fax)